

– HondaがNシリーズ10周年に合わせ、軽自動車の10年を振り返る調査を実施 –

軽自動車ユーザー1,000人に調査、軽自動車の安全性能向上を実感する人が9割

運転中に6割が「ヒヤリハット」に遭遇も、

ドライバーの4人に1人は自動車の安全機能に助けられた経験有り

この10年で軽自動車に対するイメージが大きく変化し、安全性能へのイメージは8.6倍に！

国内新車販売台数No.1の「N-BOX」シリーズは、

安全運転支援システム Honda SENSINGを全タイプに標準装備

Hondaの軽自動車「N-BOX(エヌボックス)」シリーズ※1は、登録車を含む国内新車販売台数で4年連続で第1位※2を、軽自動車では6年連続で新車販売台数第1位※3を獲得しています。

N-BOXは2011（平成23）年12月に発売され、この12月に発売10周年を迎えました。そこで今回は、軽自動車ユーザー1,000人を対象に、軽自動車の機能やイメージに対する変化について調査しました。すると、軽自動車ユーザーの9割以上が安全性能の向上を実感し、軽自動車を子どもにも勧めたいと高く評価していることが分かりました。主な調査結果は以下の通りです。軽自動車ナンバーワンブランドとしてN-BOXは、軽自動車の安心安全を、これまででも、これからも、リードしてまいります。

※1：N-BOXシリーズ（N-BOX、N-BOX+、N-BOX SLASH） ※2：2017年～2020年の登録車を含む国内新車販売台数第1位（全軽自協・自販連資料による）

※3：一般社団法人 全国軽自動車協会連合会調べ（2015年～2020年）

主な調査結果

この10年で軽自動車の「安全性能」は大きく向上！「車内空間」「走行性能」もイメージが改善

軽自動車ユーザーの9割以上がこの10年で軽自動車の「安全性能」（96.7%）が向上したと実感。軽自動車の「安全性能」のイメージは10年前の8.64倍に向上。「車内空間」（7.76倍）や「走行性能」（6.67倍）と並んで軽自動車の3大ビッグバン要素に。

ドライバーの6割がヒヤリハット経験 4人に1人は「車搭載の安全機能」に救われた

運転中に追突や飛び出しなどのヒヤリハット経験をしたドライバーは61.8%と少なくない。一方、ドライバーの4人に1人（24.2%）は「車に装備された安全機能があって助かった」と命拾いしている。

軽自動車に搭載してほしい安全運転支援機能は「追突防止」「踏み間違い防止」「バックカメラ」

軽自動車を購入する際、94.9%が「車の安全性能を重視」。安全性能を高められると思う理想の軽自動車の機能TOP3は、「追突防止」（75.4%）、「アクセルとブレーキの踏み間違いの防止」（65.9%）、「バックカメラ」（56.0%）。

保護者の4人に3人は自身のお子様に「軽自動車を勧めたい」

現在の軽自動車の安全性能には納得！親の4人に3人は自分の子どもにも、軽自動車を勧めたい（74.5%）。

N-BOXユーザーが実感！納得！ N-BOXの安全運転支援機能に称賛の声続々

調査概要 ■実施時期：2021年10月22日（金）～10月26日（火） ■調査手法：インターネット調査 ■調査対象：18歳～60代の軽自動車ユーザー男女1,000人（男女各500人）

★構成比（%）は小数第2位以下を四捨五入しています。合計が100%にならない場合があります。

2011（平成23）年12月に発売されたN-BOXは、この12月に発売10周年を迎えました。N-BOXは、登録車を含む新車販売台数において4年連続No.1、軽自動車販売台数では6年連続No.1を獲得している軽自動車です。今回は、N-BOX発売10周年を迎えるに当たって、軽自動車の10年の変化について軽自動車ユーザー1,000人を対象に調査を行いました。

■ この10年間で軽自動車の安全性能は大きく向上 「安全性能」への評価は8.64倍も

軽自動車について、10年前と比較して安全性能が向上したと思うかと聞くと、全体の96.7%が「安全性能が向上した」と答えました [図1]。

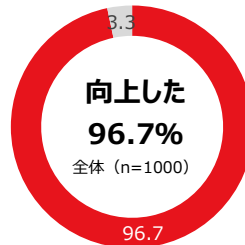
また、10年前と比較して軽自動車のイメージが良くなったと思うかと聞くと、こちらも94.4%が「イメージが良くなった」と答えました [図2]。

そこで、現在の軽自動車のイメージを聞くと「運転しやすい」（60.4%）、「燃費がよい」（57.4%）、「車内空間が広い」（52.8%）、

「実用的な」（41.7%）、「安全性能が高い」（33.7%）が高く評価されています。一方10年前の軽自動車のイメージは「実用的な」（29.3%）、「運転しやすい」（27.9%）、「燃費がよい」（23.1%）などで、現在52.8%が認める「車内空間が広い」は10年前は6.8%と低く、この10年で46ポイントも評価を伸ばしています。また、この10年で評価の伸長率が一番大きかったのが、軽自動車の「安全性能」です。10年前は最下位の3.9%しかありませんでしたが、現在は33.7%と8.64倍に伸長し、高く評価されています [図3]。

【図1】 10年前と比べた

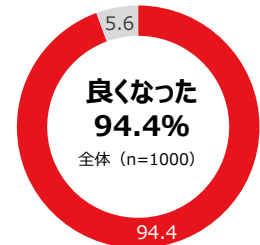
軽自動車の安全性能
スコアは「向上したと思う」「やや向上した」「どちらかといえば向上した」の合計値



■ 向上したと思う ■ 思わない

【図2】 10年前と比べた

軽自動車のイメージ
スコアは「イメージが良くなったと思う」「やや良くなった」「どちらかといえば良くなった」の合計値



■ 良くなったと思う ■ 思わない

【図3】 軽自動車のイメージ比較 現在と10年前（複数回答）

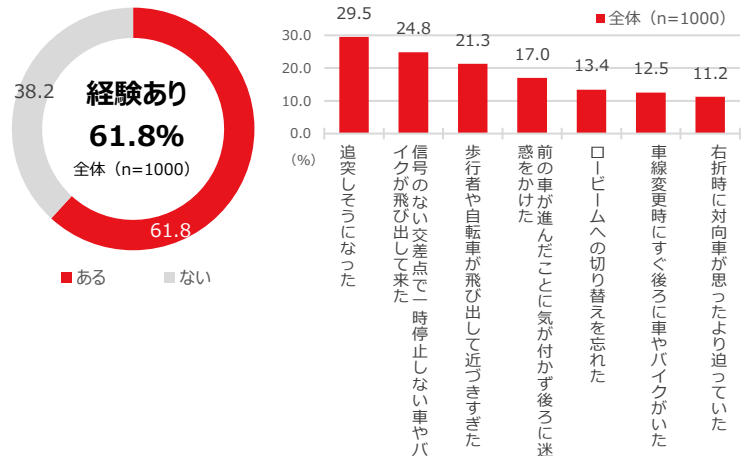
現在の軽自動車イメージ		10年前の軽自動車イメージ		現在と10年前 差分TOP5			
				現在	10年前	差分	
運転しやすい	60.4	実用的な	29.3	車内空間が広い	52.8%	6.8%	46.0pt差
燃費がよい	57.4	運転しやすい	27.9	燃費がよい	57.4%	23.1%	34.3pt差
車内空間が広い	52.8	燃費がよい	23.1	運転しやすい	60.4%	27.9%	32.5pt差
実用的な	41.7	値段に対して満足度が高い	13.1	安全性能が高い	33.7%	3.9%	29.8pt差
安全性能が高い	33.7	個性がある	8.7	走行性能が高い	30.7%	4.6%	26.1pt差
走行性能が高い	30.7	車内空間が広い	6.8	全体 (n=1000) (%)			
品質がよい	29.4	普通車と差は小さい	6.3				
外観がよい	28.6	信頼感がある	6.1				
デザインが優れている	27.9	品質がよい	5.9				
普通車と差は小さい	26.9	外観がよい	5.6				
おしゃれな	23.8	デザインが優れている	5.5				
値段に対して満足度が高い	23.5	走行性能が高い	4.6				
信頼感がある	20.4	センスがよい	4.4				
環境にやさしい	20.3	環境にやさしい	4.3				
センスがよい	17.5	おしゃれな	4.2				
個性がある	17.5	安全性能が高い	3.9				
全体 (n=1000) (%)		全体 (n=1000) (%)					

現在と10年前 伸び率TOP5			
	現在	10年前	伸び率
安全性能が高い	33.7%	3.9%	8.64倍
車内空間が広い	52.8%	6.8%	7.76倍
走行性能が高い	30.7%	4.6%	6.67倍
おしゃれな	23.8%	4.2%	5.67倍
外観がよい	28.6%	5.6%	5.11倍
全体 (n=1000) (%)			

■ ドライバーの6割が運転中のヒヤリハットを経験

次に、軽自動車を運転中にもう少しで事故を起こしそうになってヒヤリとしたりハットとする、いわゆるヒヤリハット経験について聞きました。すると、全体の6割が「ヒヤリハット経験がある」（61.8%）と答え、「追突しそうになった」（29.5%）、「信号のない交差点で一時停止しない車やバイクが飛び出して来た」（24.8%）、「歩行者や自転車が飛び出して近づきすぎた」（21.3%）などが多くなっています〔図4〕。

【図4】 運転中のヒヤリハット経験とその内容

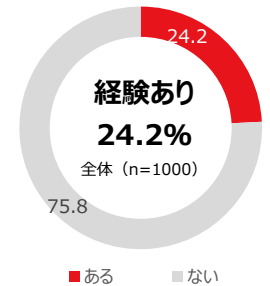


■ ドライバーの4人に1人は、車の安全機能に助けられたことがある

多くのドライバーがヒヤリハットを経験していますが、車を運転中に「車に装備された安全機能があって助かった経験」を聞くと、4人に1人が「助けられた」（24.2%）と答えました〔図5-1〕。交通事故は誰もが起こす可能性があります、ドライバーの4人に1人は車の安全機能のおかげで事故を未然に防ぐことができたようです。

車の安全性能のおかげでヒヤリハットを回避できた経験を具体的に聞くと、「前の車が急ブレーキを踏んだ時に音で知らせてくれて間に合った」（岐阜県36歳女性）、「オーディオ操作時、思ったより左側に寄っていて車線逸脱防止システムによって逸脱せずに済んだ」（静岡県46歳男性）などのヒヤリハット体験が寄せられました〔図5-2〕。

【図5-1】 車の安全機能に助けられた経験



【図5-2】 運転中のヒヤリハット経験（自由回答）

- 路肩に歩行者が歩いていてそこに突っ込みそうになった時、ハンドルを動かして回避してくれた（長野県20歳男性）
- 前の車がいきなり停止し急ブレーキになりそうになった時、ランプや音で知らせてくれる機能で助かった（山形県21歳女性）
- 信号が赤に変わった際にブレーキをゆっくり踏んでスピードを落としながら後部座席の荷物を取ろうと一瞬目を離したら、前の車との距離が思いの外近く、ピピッとアラートが鳴った。そのおかげでぶつからずに済んだ（北海道28歳女性）
- 駐車する時、後ろの人に気付けた（福岡県38歳男性）
- トランクが開いたまま発進しそうになったが、サインが出て助かった。暗くなった時、ライトを付けるように知らせがあり、つけ忘れずに済んだ（北海道39歳女性）
- バックしている時に、後ろにぶつかる前にブレーキがかかった（長崎県40歳女性）
- 前の車が停車したのに気付くのが遅く、ぶつかると思ったがブレーキアシストのおかげでぶつからずに済んだ（宮城県42歳女性）
- 車間距離が近づきすぎて警報が鳴り、自分が思っていたよりも距離の余裕がなかったことに気付いた（茨城県43歳女性）
- 左側から自転車や歩行者が飛び出して来た時に、安全機能があったのですぐに回避できた。信号が赤から青に変わって前の車が走りだしたのに気が付かず、アラームが鳴り、すぐに発進できた（兵庫県53歳女性）
- 前を走っている車が急ブレーキをかけたところ、こちらのホンダセンシングが作動して、追突しないで済んだ（東京都54歳男性）
- 歩行者に近づきすぎて、自動ブレーキが作動した（神奈川県63歳男性）
- 停車中、物を取ろうとしてそちら気を取られていて、うっかりブレーキを踏む力を弱めてしまい、車がゆっくり前進してしまった時、アラームが鳴って前に止まっていた車にぶつからずに済んだ（静岡県73歳女性）

■ 軽自動車ユーザーが選ぶ軽自動車理想の安全性能TOP3 「追突防止」「踏み間違い防止」「バックカメラ」

自動車を購入する際、車の安全性能を重視するかと聞くと、全体の94.9%が「重視する」と答えました [図6]。

誰もが求める安全性能ですが、安全性能を高められると思う理想の軽自動車の機能を聞くと、「追突防止」(75.4%)、「アクセルとブレーキの踏み間違いの防止」(65.9%)、「バックカメラ」(56.0%)などが上位に挙げられました [図7]。

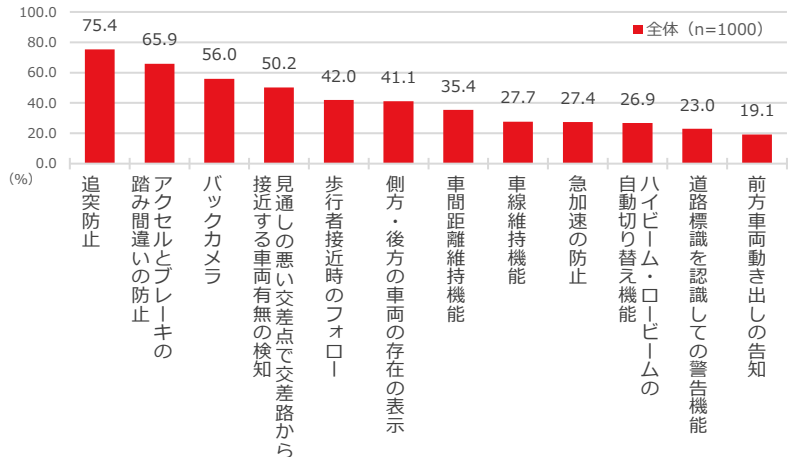
【図6】 軽自動車を購入する際、

安全性能を重視する

スコアは「重視する」「やや重視する」「どちらかといえば重視する」の合計値



【図7】 安全性能を高められると思う理想の軽自動車の機能 (複数回答)

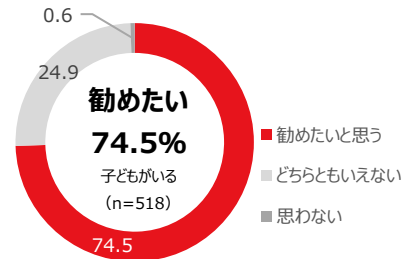


■ 保護者の4人に3人は「軽自動車を子どもに勧めたい」

全性能を重視して軽自動車を選んでいるユーザーですが、自分の子どもに軽自動車を勧めたいかと聞くと、子どもがいる518人のうち74.5%と4人に3人は「子どもに勧めたい」と答えました [図8-1]。

子どもに勧めたいと思う理由を具体的に聞くと、「普通車と比べて安全装置に大差なくなった」(滋賀県61歳男性)、「軽といっても車内も広いデザインがいい車もあるし、長時間運転しても昔ほど疲れにくい」(大阪府47歳女性)など、軽自動車の安全性や快適性は、子どもにも勧めたいほど高く評価されています [図8-2]。

【図8-1】 軽自動車を子どもに勧めたい



【図8-2】 軽自動車を子どもに勧めたい理由 (自由回答)

- **安全性も高い**と思うし、運転のしやすさ、またデザインも以前に比べると良くなったと思う (福岡県25歳女性)
- 以前に比べバックモニター、車線からはみ出したら警告音、追突防止の機能が付いたりして、より歩行者や運転手に**安心安全な機能が増えた**と思う。子どもが車を買いたいと希望したら軽自動車に運転に慣れた方がいいのではと勧める (佐賀県43歳女性)
- 運転しやすいし、**事故予防の機能が格段に良くなった**と思うから (奈良県47歳男性)
- 乗りやすいし、車内も広がった (群馬県48歳男性)
- 軽自動車も普通自動車も機能は変わらないと思うから (埼玉県54歳女性)
- 安全性もかなり向上し維持費も燃費も良いから (北海道60歳女性)
- **やはり安全機能が充実**しているので、軽自動車を買うのであれば自分のニーズに合った機能を付け買っても良いと思う (宮城県60歳女性)
- さらに安全性もデザインも良くなっているので**十分勧めるに値する** (愛知県61歳女性)



■ 安全性能で人気のN-BOX

安全運転支援システム Honda SENSINGを全タイプに標準装備

HondaのN-BOXは、軽乗用車最大級※1の室内空間や存在感のあるデザインに加え、全タイプに安全運転支援システム「Honda SENSING（ホンダセンシング）」※2が標準装備されています。

快適で安全なN-BOXは、2021年5月末には、Honda四輪車として最速※3で累計販売台数200万台を達成。登録車を含み新車販売台数において4年連続No.1、軽自動車販売台数では6年連続No.1を獲得しています。

※1：2019年10月時点 室内三寸法（室内長、室内幅、室内高）に基づく。Honda調べ

※2：Honda SENSINGは、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力（認識能力・制御能力）には限界があります。各機能の能力を過信せず、常に周囲の状況に気を付け、安全運転をお願いします

※3：2011年12月の初代N-BOX発売以来、9年5カ月（114カ月目）での達成

多くのお客様に愛され続けるN-BOX。オーナーの方々にN-BOXのお気に入りポイントを聞くと、「ホンダの安全技術を信頼。車内が広くて内装もシンプルでオシャレ。加速もしやすい」（山形県39歳女性）、「安全機能が優れていることと燃費が良いこと、車内が広くて小回りが利く事」（兵庫県50歳男性）など、安全性能が評価されています〔図9〕。

〔図9〕 マイN-BOXのお気に入りポイント（自由回答）

- 何とんでもホンダの技術力による**安全性の高さ**に尽きる（東京都18歳男性）
- **車内が広めて天井も高い**ので、運転していて窮屈に感じないところが良いと思います。また、後ろの座席を倒してフラットにできるので、大きめのものを買ったときやたくさん積む物があるときにも便利です（北海道29歳女性）
- エンジンが強い、安全が高まった（青森県39歳女性）
- 軽自動車にもかかわらず車内空間が比較的広い。**燃費が良く**、以前乗っていた普通車よりもガソリン代が少なく済んだ。ホンダ車のため**普通車と同様にホンダセンシングを搭載**していて、安全性も比較的高い車である（愛知県44歳男性）
- 軽自動車なのに安全装備が整っている。平地を走る分には十分な走行性能を有している（埼玉県46歳男性）
- ホンダの上級車のアコードとほぼ同じ安全装置がついている。**室内の広さは普通車以上**なところ（静岡県46歳男性）
- **安全装備が多数**。車高が高いけど乗りやすい（宮城県51歳男性）
- 外観、車内空間が広い。**安全装備が充実**。シートがフルフラットになる（静岡県52歳男性）
- 車内の広さとホンダセンシングの安全性能（愛媛県52歳男性）
- 何より室内が広い。居住性に優れたシートも倒れるので大きな荷物も積むことができる。ホンダセンシングも優れていて安全性も高い（東京都54歳男性）
- 安全運転システムの装備（埼玉県58歳女性）
- とにかく小回りが利いて**運転しやすい**。燃費が良く維持費が安くて助かる。見た目以上に車内が広くて荷物もたくさん積むことができるし乗っていても余裕がある（秋田県59歳女性）
- 車内が広くて乗りやすい。安全装置も最低限以上のものがあって、気に入っている（愛知県65歳男性）
- **普通車と変わらない**乗り心地と安全機能の充実（兵庫県66歳男性）
- 車内が広い、安全装置が付いている、荷台が広がる（広島県67歳女性）
- 室内、特に後部座席を折り畳むと、大きな空間が確保されて、大きな荷物や、仕事の道具なども楽々積載できる。**仕事にもレジャーにも便利**に使える。安全性が高まり、**高齢者（72歳）でも安心して**運転ができる。もちろん、経済的にも満足している（愛知県72歳男性）



N-BOXシリーズは10年累計販売台数NO.1※

ついに10周年！愛され続けるN-BOXが、 新しくなって登場

N-BOXの魅力である、広い室内空間や、走り、燃費の良さといったクラスレスな強みはそのままに、安全運転支援機能を強化し、日常の安心・安全さを更に向上させました。先進の安全運転支援システム「Honda SENSING」は引き続き全タイプ標準装備。また、全モデルに電子制御パーキングブレーキを採用。スイッチを引くだけでパーキングブレーキが作動。アクセルを踏めば自動的に解除されます。カモ手間もいらず、かんたんに操作が可能です。

なんでもない日をちょっとうれしい日に変える一台です。



※N-BOX、N-BOX+、N-BOX SLASH 2011年12月～2021年11月の登録者を含む国内新車販売台数（全軽自協・自販連調べ）

N-BOX 公式ホームページ <https://bit.ly/3dJRem2>

調査概要 ■実施時期：2021年10月22日（金）～10月26日（火） ■調査手法：インターネット調査 ■調査対象：18歳～60代の軽自動車ユーザー男女1,000人（男女各500人）

★構成比（%）は小数第2位以下を四捨五入しています。合計が100%にならない場合があります。